

(別冊)

## 利用者等に対するアンケートの結果について

介護保険の施行状況に関する調査結果の概要……………	1
(全国老人クラブ連合会)	
各自治体を実施した利用者等アンケートの結果について……………	5
・ 総括表……………	5
・ 兵庫県神戸市……………	7
・ 千葉県千葉市……………	11
・ 茨城県日立市……………	15
・ 山口県山口市……………	18
・ 東京都稲城市……………	25
・ 愛媛県東予市……………	27
・ 岡山県奈義町……………	31
介護保険導入により新たにサービスを利用する者の割合……………	34
(厚生省 96市町村調査)	
介護保険制度後におけるサービス提供量の増加……………	35
(厚生省 86市町村調査)	

平成12年7月24日

厚生省老人保健福祉局

## 介護保険の施行状況に関する調査結果の概要

利用者に対する「介護保険の施行状況に関する調査」について、平成12年7月7日までに回答のあったもの下記のとおり概要としてとりまとめた。

実施方法＝財団法人全国老人クラブ連合会の協力を得て、全国に網羅する老人クラブの組織を活用して実施。

調査対象＝老人クラブの会員及び老人クラブが行っている友愛活動の対象者のうち、介護保険の利用者で在宅で生活している高齢者。

### ○ 回答状況

平成12年7月7日までの回答件数は821件で回収率は69.6%であった。

第1回調査件数	1,180件	各都道府県と指定都市で20ケース
回答件数	821件	回収率69.6%
うち、無効	16件	
有効回答	805件	

### ○ 回答者の状況

(性別)

回答者の性別は、女性が490件(60.9%)で、男性が295件(36.6%)となっている。

(年齢)

年齢別では、殆どが65歳以上の第1号被保険者であるが、そのうち75歳以上の後期高齢者は553件と7割近くを占めている。

なお、第2号被保険者である65歳未満が19件あった。

年齢区分	回答件数	備考
65歳未満	19件 (2.4%)	70歳以上75歳未満129件 65歳未満 19件(2.4%) 75歳未満 189件(23.5%) 75歳以上 553件(68.7%)
65歳以上70歳未満	60件 (7.5%)	
70歳以上80歳未満	280件(34.8%)	
80歳以上90歳未満	300件(37.3%)	
90歳以上	102件(12.7%)	
無回答	44件(5.5%)	

(世帯構成)

世帯の構成は、「子ども等との同居世帯」が433件で半数以上を占めており、続いて「夫婦のみの世帯」が211件、「一人暮らし」が147件という状況である。

「子ども等との同居世帯」と「夫婦のみの世帯」で、8割を占めている。

(家族介護者の有無)

家族介護者の有無については、「いる」が607件と多数を占めており、「いない」が171件で2割強あった。

世帯構成		家族介護者の有無	
子ども等との同居世帯	433件(53.8%)	いる	607件(75.4%)
夫婦のみの世帯	211件(26.2%)	いない	171件(21.2%)
一人暮らし	147件(18.3%)	無回答	27件(3.4%)
無回答	14件(1.7%)		

### ○ サービスの利用状況

(サービスの利用時期)

「介護保険によるサービスを利用する以前からサービスを受けているケース」が612件と多

数を占めており、「介護保険により初めてサービスを受けたケース」が179件で2割強となっている。

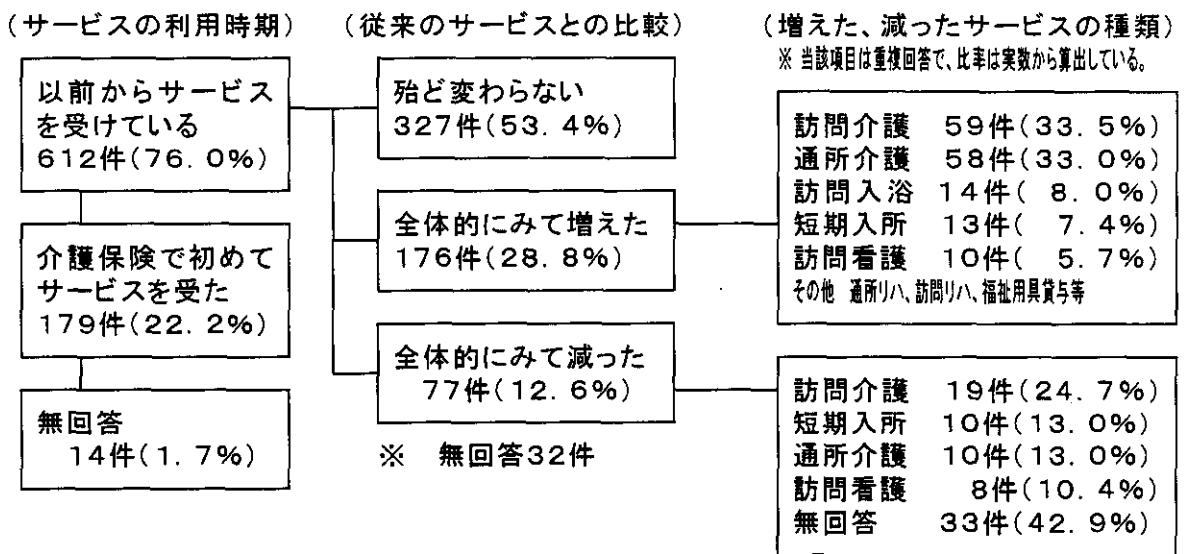
(従来のサービスとの比較)

以前からサービスを受けている612件を、介護保険制度によるサービスを以前から受けていたサービスと比較した場合、「殆ど変わらない」が327件と最も多く、続いて「全体的にみて増えた」が176件、「全体的にみて減った」が77件となっている。

(増えた、減ったサービスの種類)

なお、増えた主なサービスでは、「訪問介護」が59件、「通所介護」が58件と他のサービスに比べ多く、続いて、「訪問入浴介護」、「短期入所」、「訪問看護」の順となっているが、いずれも10数件であった。

また、減った主なサービスでは、「訪問介護」が19件、「短期入所」、「通所介護」がそれぞれ10件と続いている。



(介護保険の利用に伴う家族関係等の変化)

介護保険でサービスを受けることによって家族の生活意識や家族関係の変化については、あまり差はないものの「毎日の生活に張りが出てきた」が104件と最も多く、「在宅生活を送ることに意欲的になった」が88件、「家庭内の雰囲気明るくなった」が81件と続いており、精神的な負担軽減につながるような変化が伺える。

また、少数ではあるが、具体的な変化として、「引き続き在宅で生活を送ることになった」が22件、「家族と同居することになった」が5件あった。

なお、「特に変化はなかった」が72件で全体の約2割あった。

家族関係等の変化	回答件数	備考
A 毎日の生活に張りが出てきた	104件(29.3%)	介護保険により受けたサービスが初めてというケースの179件と以前からサービスを受けていた内、「全体的にみて増えた」というケース176件の合計355件の複数回答。(累計385件)
B 在宅生活を送ることに意欲的になった	88件(24.8%)	
C 家庭内の雰囲気が明るくなった	81件(22.8%)	
D 特に変化はなかった	72件(20.3%)	
E 引き続き在宅で生活を送ることとした	22件(6.2%)	
F その他	13件(3.7%)	
G 家族と同居することとなった	5件(1.4%)	
H 無回答	80件(22.5%)	

※ 選択肢の原文

- A 通所サービスなどの利用により、本人が外出する機会が増え、毎日の生活に張りが出てきた
- B 日常生活が楽になり、継続して在宅生活を送ることに意欲的になった
- C 家族の介護負担が軽くなり、家族間の会話が多くなるなど、家庭内の雰囲気が明るくなった
- E 施設への入所を希望していたが、在宅の介護サービスが増えたので、引き続き在宅で生活を送ることとした
- G 従来は施設に入所するなど家族と別居していたが、在宅介護サービスが増えたので家族と同居することとなった

○ 要介護認定の状況

(要介護認定結果)

認定結果は、「要介護1」が172件と最も多く、以下「要介護5」が124件と続いているが、「要介護2」から「要介護5」までは、ほとんど差はない。  
 なお、無回答も75件と1割近くあった。

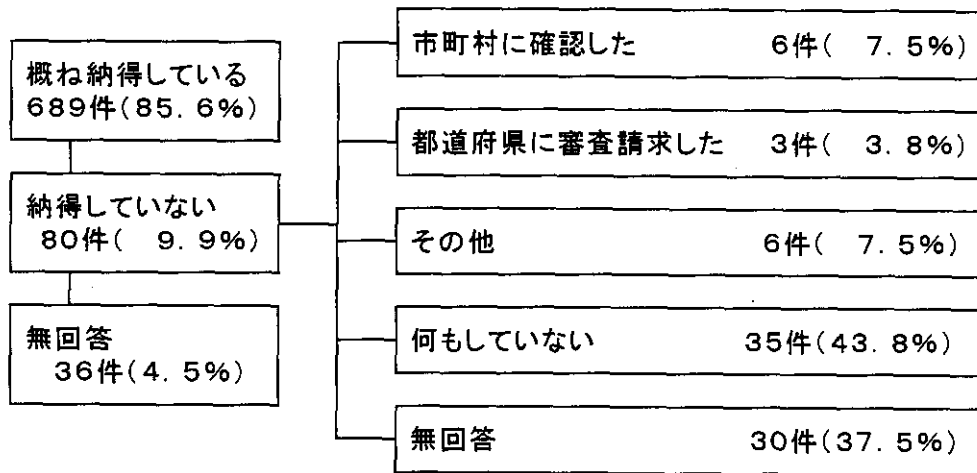
要介護度区分	件数(占有率)	全国の状況(H12.3月時点)
要支援	82件(10.2%)	81,663件(16.3%)
要介護1	172件(21.4%)	297,913件(26.8%)
要介護2	113件(14.0%)	192,154件(17.3%)
要介護3	119件(14.8%)	131,021件(11.8%)
要介護4	120件(14.9%)	116,230件(10.5%)
要介護5	124件(15.4%)	107,039件(9.6%)
無回答	75件(9.3%)	

(認定結果の評価)

認定結果について、「概ね納得している」が689件と多数を占めているが、「納得していない」も80件と約1割あった。

「納得していない」という80件のうち、とった対応としては、「市町村に確認した」が6件でとった行動の内では最も多く、ついで「都道府県に審査請求した」が3件となっている。

なお、80件のうち、「何もしていない」が35件、「無回答」が30件とそれぞれ4割前後あった。



○ ケアプランの作成等

(サービスの選択)

ケアプランを作成するにあたり、希望するサービスを選べることができたかについては、「選ぶことができた」が675件で8割強と多数を占めており、「選べなかった」が56件で1割弱という状況である。

なお、無回答も74件と1割近くあった。

(ケアプランに対する評価)

作成されたケアプランに対する評価は、「概ね満足している」が600件と最も多く、続いて「どちらともいえない」が110件、「満足していない」が53件となっている。

サービスの選択		ケアプランに対する評価	
選ぶことができた	675件(83.9%)	概ね満足している	600件(74.5%)
選べなかった	56件(7.0%)	満足していない	53件(6.6%)
		どちらとも言えない	110件(13.7%)
無回答	74件(9.2%)	無回答	42件(5.2%)

○ サービスに関する状況等

(受けているサービスの種類 - 複数回答)

サービスの利用状況は、「訪問介護」が360件で一番高く、続いて「通所介護」が272件となっており、これらは他のサービスに比べ高い。次に「訪問入浴介護」、「福祉用具貸与」、「通所リハ」、「訪問看護」、「短期入所」と続いているが、それらの利用回数に大きな差はない。

サービス区分	回答件数	備考
訪問介護	360件(44.7%)	複数回答項目であり、累計で1408件の回答があった。 左記の割合については、有効回答数805件に占める割合で算出していることから、トータルすれば100を超える。
通所介護	272件(33.8%)	
訪問入浴介護	175件(21.7%)	
福祉用具貸与	144件(17.9%)	
通所リハ	141件(17.5%)	
訪問看護	140件(17.4%)	
短期入所	127件(15.8%)	
訪問リハ	49件(6.1%)	
無回答	76件(9.4%)	

(サービス内容の評価)

受けているサービスに対する評価は、「概ね満足している」が677件と8割強を占めており、「不満がある」が69件で1割弱あった。

(サービスの選択)

サービスを受けるにあたって、その選択の幅はこれまでと比較して、「特に変わらない」が449件と最も多く、続いて「広がった」が216件、「狭くなった」が53件という状況である。

(サービスの質)

受けているサービスの質はこれまでと比較して、「どちらともいえない」が464件と6割弱を占め最も多く、「良くなった」が220件、「悪くなった」が27件と続いている。

(サービスに対する苦情)

サービスに対する苦情について、これまでと比較して「どちらともいえない」が433件と5割強を占め最も多く、「言いやすくなった」が244件、「言いにくくなった」が26件と続いている。

サービス内容の評価	サービスの選択	サービスの質	サービスに対する苦情
概ね満足している 677件(84.1%)	広がった 216件(26.8%)	良くなった 220件(27.3%)	言いやすくなった 244件(30.3%)
不満がある 69件(8.6%)	狭くなった 53件(6.6%)	悪くなった 27件(3.4%)	言いにくくなった 26件(3.2%)
	特に変わらない 449件(55.8%)	どちらともいえない 464件(57.6%)	どちらともいえない 433件(53.8%)
無回答 59件(7.3%)	無回答 87件(10.8%)	無回答 94件(11.7%)	無回答 102件(12.7%)

○ 利用料

受けているサービスの量や内容等サービス全体からみて、その利用料について「概ね妥当な額だと思う」が367件と最も多く、「分からない」が168件で約2割あった。また、「高い方だと思う」が110件、「安い方だと思う」が105件と続いている。

回答内容	回答件数
概ね妥当な額だと思う	367件(45.6%)
分からない	168件(20.9%)
高い方だと思う	110件(13.7%)
安い方だと思う	105件(13.0%)
無回答	55件(6.8%)